

第6回 出雲市水道事業推進懇話会 会議録

○開催日時 令和2年2月13日(木) 14:00～15:40

○開催場所 出雲市上下水道局2階会議室

○会議の出席者

・委員(12名)

板垣律子 委員	井上千晶 委員	大畑和也 委員	高野智子 委員
園山裕美 委員	高橋智子 委員	中川弘美 委員	錦織文子 委員
布野敏次 委員	森山恵介 委員	安井多喜恵 委員	山本富子 委員

※欠席者1名 足立修司 委員

・出雲市(8名)

上下水道局	上下水道事業管理者 石田 武、次長(営業総務課 課長) 和田俊之
経営企画課	課長 妹尾俊彦、課長補佐 宮廻 裕、主任 岸 正樹 主任 岡 貴行、主事 高橋知世
水道施設課	課長 岡 芳幸、課長補佐 矢田浩幸
浄水管理室	室長 内部郁男

○次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 委嘱書交付
4. 委員自己紹介
5. 懇話会設置規程について
6. 議事

(1) 会長・副会長選出

委員から事務局案を求める意見あり。事務局から、会長に中川弘美委員を、副会長に井上千晶委員を提案。委員からの異議なし。

⇒会長：中川弘美委員、副会長：井上千晶委員に決定。

(2) 議題

①講演：きれいな水のできるまで

②水道料金の改定について

(3) その他

次回懇話会は6月か7月頃開催予定。別途日程調整する。

7. 閉会

○意見・質疑等(別紙のとおり)

■意見・質疑等

(委員) 資料(わたしたちの水道)は小学生向けなので斐川が入っているのか。

(事務局) 15・16ページの給水区域図で色を塗って図示していて、17ページ上部資料(出雲市の1日平均給水量と給水人口のうつつりかわり)は出雲市としての資料であり、宍道地域を除いた企業団エリア(斐川町・島村町)は含んだものになっている。

(委員) 斐川町の子ども達も来原浄水場に見学に来るのか。

(事務局) 基本的には斐川地域の方は見学に来られない。

(委員) 斐川の方も来原の水を使っておられるのか。

(事務局) 来原浄水場の対岸に斐川の浄水場があり、その水を送っていて、来原浄水場の水ではない。

(委員) 斐川宍道水道企業団は将来的に出雲市と合併ということはないか。

(事務局) 斐川町は出雲市と、宍道町は松江市と合併したが、水道は一部事務組合として残っており、議会もあって、松江・出雲それぞれ市議会から何人か出ておられる。企業長は出雲市長で、副企業長は松江市長である。一つのまちで二つの事業体があること、料金が違うということがあるが、収入が伸びない中、経費の削減などの課題に対して、企業団や松江とどう関わっていくか、広域化の議論の中で話していくべき事だと思う。